

学校創立 110周年
校歌制定 70周年
同窓会報発刊 50周年



発行・編集
大阪府立園芸高等学校大園同窓会
〒563-0037 池田市八王寺2-5-1
印刷
株式会社 サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
電話 079-284-1380



大阪府立園芸高等学校

創立110周年！

—誇りある歴史を永久に
輝く人材を社会に世界に—

園芸高等学校校歌

一、銀杏の木陰道ひろく
真理にひらく知恵の門
みのりゆたかにいま結ぶ
木の実尊き掌

幸ありわれらわれらが腕
土のかおりもさわやかに

二、学びの庭の美しく
日ごとにほげむ園の芸
ひとみさやかにいま究む
こころすしき花薔薇

栄ありわれらわれらがいのち
匂ういぶきもすこやかに

三、豊島の広野芝青く
理想をめざす若き肩
おもいまどかにいま仰ぐ
ひかりまばゆき揚雲雀

晴れたりわれらわれらが未来
春のつばさもおおらかに

作詞 安西 冬衛
作曲 高木 東六

大園同窓会推進事項

学校創立120周年へ 学校・学生への教育支援の強化
会費、寄付金の推進強化
同窓会活動の拡大・学校広報の活発化



学校発展のために推進をお願いします！！

創立110周年を迎えて

大園同窓会 会長 小南 修身



大園同窓会
会員の皆様方
におかれまし
ては、ますま
すご清祥にお
過ごしのこととお慶び申し上げ
ます。また、本年が、本校創立
110周年という輝かしい節目を
迎えましたことを、心からお祝い
申し上げます。

それぞれの社会でご活躍されている
ことを心より誇りにおもうところ
です。大園同窓会は、卒業生の皆
様と学校そして地域社会を結ぶ大
切な架け橋となるべく、初代会長
小原豊雲先生（華道小原流家元）
が設立され、拠点となる同窓会館
や温室などを私財にてご寄付いた
だいています。

私たち役員は、小原先生の思い
を受け継ぎ同窓生の皆様との絆を
深め、母校の更なる発展を支援す
るため様々な活動に取り組んでい
るところです。

1915年（大正4年）秦野
村尊鉢の地に豊能郡立農林学校
として開校以来、2度の校舎移転
が行われましたが、この移転に際
しては教職員、生徒の皆様方が共
にゲートルを足に巻き、手甲脚絆
の出で立ちでモッコを担ぐとい
う大変な人力作業での開墾によ
り、開校がなされたと同つていま
す。そのご苦労のもとに本校は、
1941年（昭和16年）現在の八
王寺の地に根ざすことができ、こ
の長い歴史の中で農園芸業界はも
とより、またその他の分野を含め
た社会の発展に貢献する人材を多
数輩出されてきました。

このような卒業生の皆様が、そ

創立110周年、さらなる飛躍の年に

大阪府立園芸高等学校 校長 竹田 賢司



令和7年4
月1日付で本
校の校長に着
任いたしました
竹田賢司と
申します。

大園同窓会会員の皆様方におか
れましては、ますますご清祥のこ
ととお慶び申し上げます。平素よ
り、本校の教育活動に物心共にお
力添えをいただき、衷心よりお礼
申し上げます。

さて、私が本校に着任して以
来、園芸高校の凄さに日々驚いて
いる状況です。敷地面積が甲子園
球場3つ分もあり、府立高校で
は最大の敷地面積を誇っているこ
と、校内に実習林や池があるこ
と、また、電子顕微鏡や電子制御が
できる温室があることなど、大学
並みの施設が整っていることに驚
かされました。また、農業クラブで
は、それぞれの専門分野を深化さ
せ、高度な研究を行っていること
に感動いたしました。これらは本
校の特徴のほんの一部で、本校の
魅力については、枚挙にいとまが

ありません。

そのような中で、私は是非本校
の魅力をできるだけ多くの方に
知ってもらいたいという思いを禁
じ得ることができませんでした。
どのような方法だと、皆様に本校の
魅力を知ってもらえるか、いろいろ
思案する日々が続きました。本校
の魅力を伝えるにはある程度のボ
リュームが必要であると考え、この

度、新しく学校案内を作成するこ
とになりました。その際、大園同窓
会からご支援を賜り、厚く御礼申
し上げます。現在、11月9日に実施
される創立記念祭で配布できるよ
う、鋭意作成中でございます。

今年度は、本校創立110周年
を迎えております。110周年と
いう節目の年が、この新しい学校
案内とともに、本校にとってさら
なる飛躍の年になることを心より
祈念しております。大園同窓会の
皆様方には、引き続き、ご協力とご
支援を賜りますよう、何卒お願い
申し上げます。

110年の歴史を
さらに発展を

PTA会長 山中 友美



大園同窓会
員の皆様にお
かれまして
は、日頃より
PTA活動に

多大なるご理解、ご協力を賜り、
ありがとうございます。

今年度は創立110周年という
節目の年となります。

PTAといたしましては、子ど
も達の為に何かできないかと、校
長先生をはじめ先生方と役員は一

同で話し合っている所です。11月
に行われる記念祭では、昨年同様
飲食販売に加えて、子ども達への
企画も披露できたらと思っており
ます。

これからも子ども達が楽しく有
意義な学校生活が送れるよう応援
して参ります。

今後ともPTA活動へのご理
解、ご教示、ご協力を賜りますよ
う、よろしくお願いいたします。

令和6年度 大園同窓会総会報告

令和6年度大園同窓会総会が、令和7年3月2日（日）午前11時より大阪府立園芸高等学校本館1階会議室にて開催されました。小南会長挨拶、神学校長挨拶につづき議案の審議に入り、1号、2号議案について承認をいただきました。

令和6年 事業報告

1月27日（土） 役員会
2月25日（日） 同窓会総会
2月29日（木） 令和5年度生同窓会入会式
3月1日（金） 令和5年度卒業式
6月29日（土） 役員会・幹事会
7月 会報資料収集
8月2日（金） 会報編集会議（委託業者共）
10月18日（金） 会報48号発行
11月10日（日） 役員会・創立記念祭

令和7年 事業計画（案）

2月22日（土） 役員会
2月27日（木） 令和6年度生同窓会入会式
2月28日（金） 令和6年度卒業式
3月2日（日） 同窓会総会
5月中旬 会報資料集め、役員会・幹事会
7月中旬 会報編集会議
8月下旬 会報編集会議
10月 会報49号発行
11月9日（日） 役員会・創立記念祭

1. 総括

収入金額 5,017,762円
支出金額 1,448,933円
差引額 3,568,829円

2. 収入の部

単位：円

項目	金額
繰越金	3,150,274
同窓会費（協力金含む）	1,131,234
入会金	736,000
利息	254
合計	5,017,762

3. 支出の部

単位：円

項目	金額
事務費	1,330,428
管理費	16,500
行事及び補助費	67,199
広報費	18,986
手数料等	15,820
合計	1,448,933

年会費（¥3,000）納入と寄付金にご協力ください！

令和4年度より、年会費を2,000円から3,000円に改正し、資金の確保に努め、会報の発行、母校の支援等に活用させて頂いております。

また、同窓会活動と共に学校生徒の研究等のために、支援を行うことを目的に会費とは別に110周年記念行事の「賛助者」を募り賛助金として納付していただきました。この賛助金につきましては、昨年度納入分で終了し、今回お願いさせていただくのは、年会費とは別に、引き続き学校生徒の研究等の発展に貢献、また同窓会活動と何よりも永年劣化が進む同窓会館の維持管理をするために寄付金の納入にご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

－支部活動のお願い－

大園同窓会は、100年を越える歴史の中で、同窓生の親睦を図り、先輩が後輩を次代の社会リーダーに育てようと、また、それぞれの地域の繁栄に貢献しようとの意気に燃えて支部活動を行ってきました。

1. 設置済の支部

池田市、箕面市、豊中市、川西市、宝塚市、猪名川町、東京・関東支部、豊能能勢・分校支部、大阪南支部、高槻・島本支部、尼崎西宮支部、奈良県支部、枚方交野支部、吹田支部、九州支部

2. 支部設置予定の地域で支部長もしくは世話人を引き受けて頂ける方を自薦・他薦してください。

茨木市、東大阪市、八尾市、大阪市、守口市、伊丹市、各道府県

☆支部長、世話人の募集

- ・役員会への出席（年間1～2回）、同窓会総会への出席
- ・所属の役員や幹事への声掛け
- ・支部内の催し物の企画、実施等（出来るところから）
- ・支部内の話題の取り上げ・報告（随時事務局へ提供）

☆各学年、クラス等で移転した方の情報を提供して下さい。

また、LINEグループ等でネットワークが構築されている方々は、代表者を同窓会事務局へお知らせ下さい。各種連絡を致します。



校長・回顧録



谷垣内宏之 第11代校長

1989年4月～

1994年3月

学校長としての悩み



「大園同窓会報 110周年記念号」の発刊
おめでとうご

ざいます。大阪府立園芸高等学校が同窓会の支えと共に発展していることは、大慶の至りです。

私は平成元年から平成6年まで在職していましたが、当時の園芸高校は学科改編等もからんで変革期でした。理想とする学校像は何処にあるべきかを私なりに日夜悩んでいました。

私は園芸高校に来る前は長く普通科高校に在職し、職業科高校での経験はありませんでした。職業科高校ではそれぞれの専門教員が実習中心で生徒と向き合い、座学中心の普通科高校

とは形態が異なります。

私の悩みは自分が職業科の経験がないのに管理職として在職していることへの違和感でした。私が理想とした学校像の一つは職業科の学校長は若くから職業科の教員を経験した方が担当するということでした。私の退職前の3年間はその理想を実現すべく準備した期間で、結果的には良い方向に収めることが出来たと思っています。

秋澤 亮一 第14代校長

2003年4月～

2007年3月

110周年を迎えるに当たって



園芸高等学校が110周年を迎えたことに、改めてお

祝いを申し上げます。

私が住む猪名川町は都市の

ベットタウンと農村が混在しています。ご多分に漏れず高齢化が進み、農村地域は耕作放棄地が急増し、ベットタウン地域も、団塊の世代の生きがいづくりが課題となっていました。町の要望もあり「野菜づくり」をとおした活動を行うこととなり、

NPO法人を設立し15年が経ちました。当初30人程度の会員は60名を超え、耕作放棄地を活用した野菜づくりを行い、地元の道の駅へも出荷できるようになりました。

また、地元の小学校の跡地に通信教育を併用し、高卒資格を取得できる学校ができました。学校は農業教育を柱とする学校で、人間関係づくりの苦手な生徒が学んでいます。ここで花壇づくりを教えています。当初10数名から始まり、現在、40名を超える生徒が在籍し、社会人として育っています。いずれも、園芸高校での経験が役立つています。

桑田 芳治 第15代校長

2007年4月～

2011年3月

110周年記念の回想



本校の前身である豊能郡立農林学校と府立園芸学校

の創立当時の学校周辺を市史片手に歩きました。

農林学校は阪急バスの水月公園前バス停付近の道路西側に校舎が、東側に阪急から借りた実習農場があったようです。そこには今も流れ続けている井口堂湧水があります。阪急が昭和7年に、温室付農場を分譲販売し、入植者はその湧水も利用していました。10家族ほどの新規農家が誕生したのですが、これからという所で日中戦争が始まり、燃料の高騰と花木類の価格統制等で経営難に陥り園芸農家の夢は途絶えたようです。

戦争がなければ園芸学校の専門性を活かした産業や文化が池田に深く根付いていたと思われる残念でなりません。

土橋 茂紀 第16代校長

2011年4月～

2014年3月



同窓会の皆様、創立110周年おめでとうございます。

私の在任中は皆様のご協力を得ながら100周年記念事業を準備していた時期でした。

171号線沿いの農園の塀に描いた壁画が印象的です。私はもともと普通科の教員で、茨木工科高校、北野高校(定)を経て、園芸高校に赴任しました。専門高校で普通科にない技能修得のための、実習の大切さを知りました。園芸高校では高額の専門機器が揃っており、一番の驚きはその敷地でした。日本庭園や農園は広々としています。その中で興味に応じた課題に取り組む多くの生徒たちを見ました。それは受験勉強から少し距離を置いたものでした。

疲れて校長室を離れ構内を歩いていると実習に取り組む生徒たち、放課後の時間なら農業クラブの課題に取り組む生徒たちに出会いました。彼らと交わすちょっとした会話や笑顔に癒さ

れたものです。そこにはまさに体験と知識の一体化した実践がありました。これこそ技能と知識を定着させる最良の方法と納得したものです。私の良い思い出になっています。

北之防 勉 第17代校長

2014年4月～

2018年3月

創立110周年を祝して



大阪府立園芸高等学校同窓会が大正4年の開校以

来、数々の歴史を塗り替えながら発展してこられ、110周年を迎えられることに對し、心よりお祝いを申し上げます。

第17代校長として、10年前に創立100周年の記念事業に關わらせていただいた事、つい最近のように思えます。当時は歴代校長先生、教職員の皆様、保護者の皆様、とりわけ同窓会、後援会の皆様に多くのご支援とご協力を賜り無事に記念事業を終えることができました。改めまして厚くお礼申し上げます。昨今の日本の農業を取り巻く

状況は目まぐるしく変化し、今後の日本の農業のあり方についても深く議論がなされています。食料自給率の向上、食の安全確保、高齢化に伴う農業従事者の減少対策など多くの課題に向

かっていかなければなりません。本校のような農業関連高校が果たす役割は益々大きなものになります。本校が以前より実践し成果を上げてきた研究支援活動や農業を支える人材育成活動は、必ず近い将来、より大きな重要性を持つと信じています。そのためにも、今後とも同窓会の皆様のご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

むすびに園芸高等学校同窓会の益々のご発展を記念いたしまして創立110周年記念にあたっての祝辞とさせていただきます。



真鍋 政明 第18代校長

2018年4月～

2022年3月

新型コロナウイルス感染症を乗り越えて



大阪府立園芸高等学校が創立110周年という記念

すべき節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

本校は、大正4（1915）年に創立されて以来、「勤労誠実 創造」を校訓に、農業教育の先進的な実践を積み重ねてこられました。私が校長として在任しておりました際にも、生徒たちが生き物と向き合いながら、命の尊さや勤労の意義を体感し、逞しく成長していく姿に、深い感動を覚えたことを今も鮮明に記憶しております。

ところで、私の在任期間には、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行（パンデミック）という未曾有の試練に直面することになりました。感染リスクを避けるための臨時休業措置はもとより、学年やクラスごとの分散登校、短縮

授業、家庭学習教材の配布、リモート授業の導入等、学習の機会を確保するために奔走しました。そして、教職員の皆さんが一丸となって柔軟で丁寧な対応をしてくれたことが大きな支えとなりました。と言っても創立記念祭、体育祭、修学旅行などの行事が中止や制限に追い込まれたことは、生徒たちにとつて大変

申し訳ない気持ちでいっぱいであり、今でも残念でなりません。新型コロナウイルス感染症のようなパンデミックが再び起きよう欲しくはありませんが、このような困難を乗り越えた経験は、私たちのこれからの人生や人類の未来において、かけがえない力となることでしょう。

大阪府立園芸高等学校の更なるご発展と、在校生・卒業生の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

授業、家庭学習教材の配布、リモート授業の導入等、学習の機会を確保するために奔走しました。そして、教職員の皆さんが一丸となって柔軟で丁寧な対応をしてくれたことが大きな支えとなりました。と言っても創立記念祭、体育祭、修学旅行などの行事が中止や制限に追い込まれたことは、生徒たちにとつて大変申し訳ない気持ちでいっぱいであり、今でも残念でなりません。新型コロナウイルス感染症のようなパンデミックが再び起きよう欲しくはありませんが、このような困難を乗り越えた経験は、私たちのこれからの人生や人類の未来において、かけがえない力となることでしょう。

神 絵里香 第19代校長

2022年4月～

2025年3月



大阪府立園芸高等学校の創立110周年、誠におめで

とうございます。心からお祝い申し上げます。

第19代校長として、令和4年4月より3年間勤務させていただきました。その際には、同窓会の皆様にも大変よくいただきました。

園芸高校は、体験を通して学ぶ探究型の授業で生徒の力を育成する姿勢は今も昔も変わらず、そしてこの先の未来も続いていくものだと思っています。

この学びで得られた力は、予測困難な未来であっても、生徒を支えてくれる大きな力となると思います。在校生の皆さんは、今の学びを楽しんで、自分の未来をつかんでください。そして、次の世代の皆さんに、「園芸高校って素敵な学校だよ」と胸を張って伝えてほしいと思います。ぜひ、これからも園芸高校が輝いていけるよう、同窓生の皆さんと在校生の皆さんが協力して一緒に頑張っていきたいと思います。



支部から各地から

猪名川支部

並川 清(高17化)

去る4月23日に当支部の総会

兼懇親会を開催した。新型コロナ感染症対応もあつて六年振りのため、多数の出席を期待していたが出席者は従前の総会とほぼ同じ十一名であつた。総会では、大園同窓会の活動状況と現会則の紹介、猪名川支部の現況と今後の方向付け、母校の現況紹介等を行った。

また懇親会では出席者の自己紹介、近況紹介、意見交換等が行われた。今回は大園同窓会現会長の小南修身様のご臨席をいただき、前会長の鍋谷将様との久しぶりのご対面、母校同期の四人集結等があつて大いに盛り上がり、早期再会を約して閉会した。

前回開催以降の物故者や転宅され居住先が不明となつた方が一定数おられ、高齢、病弱のため出席を辞退された方が約三分の一に上つた。また、出欠連絡の無かつた方の多くが現役世代の会員であつたことから、今後の支部の運営と活動方法を見直す必要があると反省している。

例えば、総会の開催頻度アップ、

出席し易い実施日時・曜日の検討、卒業年度ごとに委嘱されている幹事さんとの情報交換の緊密化等である。

池田支部

谷端 隆(高32造)

平素は大園同窓会活動にご理解ご支援賜り厚くお礼申し上げます。

池田支部の活動といたしましては、創立110周年を記念した会報誌の作成、大園同窓会運営や役員会などを定期的に開催しています。

また、120周年への学校、学生への支援活動が主な活動となります。地元池田支部は卒業生も多く、多方面で活躍されている方々から母校への思いを強く感じています。

しかし少子高齢化が続く中、母校も存続の危機が訪れています。受験生の減少で定員割れ寸前の現状が続いており、近い将来に閉校のレッドラインを超える可能性も考えられます。

今後母校の存続のために会費納入のご支援ご協力頂きます様お願い申し上げます。

今年も11月に開催される記念祭にお越し頂き学生達の成果を見届け、また大園同窓会の活動を少しでも協力いただける方は、記念祭当日に同窓会館にお立ち寄り頂きます様お願いいたします。

最西南端からお祝い

山下 謙二(高17化)

卒業は、確か創立50周年の頃であつた。それから60年が経ちます。

在学中に恩師米澤皎平先生から「これからは食品の文化が脚光を浴びる。中でも長期保存技術は大事になってくる」との指導で、川西市の専門学校「東洋食品工業短期大学」に進学しました。

その後、食品加工分野、特に缶詰のプロとして全国を駆けまわした。そうこうするうち、遂に沖縄県にまで足を延ばすこととなり、定年間近まで勤めました。しかし、エメラルドの空と海の天地で『何かを成そうじゃないか!』と思ひ立ち、西表島のビーチフロントに民宿を開くことにしました。経験を重ねる内にお客様に新鮮な食材、より沖縄ならではのものを提供したいとの思いで、自ら漁師となつて漁に出かけています。

今思えば、園高時代の『何事にも興味を持って眼を集中し、新た

な物事を探求する』との園芸魂ともいう青春の血潮が生き続けています。その魂は、若い現在の園高生にも受け継がれていると確信します。

皆さん!ファイトを持って前進して下さい。疲れたらいつでも当「海の家」にお越し下さい。新鮮な物産で待っています。



海の家 南ぬ風 (ばいぬかじ)

〒907-1542 沖縄県八重山郡竹富町西表字西表946 ☎0980-85-6411



箕面支部

足立 享志(高34園)

園芸科卒業先輩に託した

マンシヨンの植栽

今年度、箕面支部長となりました昭和57年園芸科卒業の足立享志です。卒業後は大阪府立大学に進学し、その後は農業高校教員として母校の他、能勢高校、城山高校にも勤務し、一昨年退職いたしました。箕面支部は今でも続く箕面市農業祭への出展をはじめ箕面市への花苗の寄贈、箕面市役所での草花装飾、箕面市立小学校への出前授業、そして農業クラブ近畿大会、全国大会でのバックアップと数多くの母校との連携を実施してまいりました。

私は1998年の支部立ち上げの時から関わらせていただき、27年後にまさか、自分が支部長になるとは夢にも思いませんでした。微力ではありますがこれからの本部に連携した支部活動に少しでもお力添えができればと思います。なお、これまでの詳しい活動につきましてはまた、機会があれば報告させていただきます。

さて、私ごとになりますが、昨年度、住んでいるマンシヨンの玄関付近に植えてあったカイヅカイブキが2本、枯れてしまい、その

あとをどうするか検討することになりました。私自身、以前の植栽は90世帯が暮らすところとしてあまり見栄えがよくないと感じており、園芸高校卒業生としてこれを機会に改善していきたいと思い、日ごろ、大園同窓会でよくお会いする田中明男先輩（昭和48年造園科卒）に軽くお話ししたところ、快諾していただきました。

田中氏は金賞受賞された台中フローラ世界博覧会での庭園の出席に携われたり、現代の名工、黄綬褒章など多くの実績のある方で、自らが代表を務められる田中造園土木による全面施行となりました。「マンションの玄関はマンションの顔である。毎日前を通って関心がもてるようなものにしていきたい」と今まで住民があまり気にしていなかった大切な部分を気づかせていただき、その思いから築30年となる当マンションの設計・施工を調べられ、植栽場所の環境、管理のしやすさ、今の住民へ伝えたいもの、これからの時代に大切になってくる住民のコミュニケーションまでも考慮されて、選ばれた植物や資材。それらと高い技術によって作成された植栽は「えっ！すごい!!」、素晴らしくてお任せして良かったと感じられました。施工の最後には子供たちが大きく



なったときに、「ここ私が植えたよね」と振りかえつてもらえるような思いも含めて、子供中心の「エントランス植栽リニューアル記念植樹」を田中氏とともに住民で行い、たんに完成しましただけでなく、住民との交流のきっかけともなりました。今まで玄関の植栽はみんな、気にかけていなかったのですが、通りすがりに雑草を抜いている方や、この枯れた葉っぱになっているけど触っていいのかな？と聞かれたりと、関心をもつ住民もみられるように。施工に関しましては反対意見も多くあり、田中氏にも度々マンションに足を運んでいただくなど、手厚く取り組んでいただき、あのとき、お願いしてほんとによかったと思っております。最後に田中先輩がおっしゃった

てた、「私は庭づくりが好きなんです。つくらせていただいているだけでありがたいと思ってます」の言葉が印象的でした。

東京・関東支部

水口 裕尊

（平成7年3月 微生物技術科卒）
勤務先・国立大学法人東京大学大学院
農学生命科学研究科

110周年にエール！

現役園高生のみなさま、これから入学を希望されている受験生のみなさま、初めまして、東京大学に勤務する水口です。私にとつて園芸高校での生活は、毎日が驚きや発見の日々でした。さまざまな実験や実習、大学の内容に近い専門教育は、普通科の高校では経験することはできません。

私は、分析化学技術者としての企業勤務を経て、現在、当研究科環境安全管理室で講師を勤めていますが、分析化学に興味を持っていたのは、園芸高校で学んだ経験によるものです。在校生のみなさまには、園芸高校で得た興味・関心を進路選択の一助にさせていただきたいと思います。また、受験生のみなさまには、普通科では経験できないさまざまな実験や実習を、是非、楽しみにしてください。

大阪南支部

泉原 一弥（高29造）

大阪弁で

やらしてもらいまっせ

昭和54年の春から、母校で13年も実習助手と常勤講師さしてもろてました。

今回はワシの今やつてる活動、南支部の仲間としてちよつとご紹介させていただきますわ。

園芸高校を辞めてから、まあいろいろあつてなあ……氣いついたらクリーニング屋のオヤジになりましてん。軽バン一台で毎日配達しながら、SNSで昔の教え子らの活躍を知ってビックリ。

「おお、ワシ昔エラそうに環境緑化の大切さ語つてたのに、今の自分、なーんもしてへんやんけ！」って、アホほどショック受けましてん。

ほんで、「せや！この軽バンの屋根に苔でも植えて、なんかせなアカンやろ」って思い立って、試行錯誤の末、なんやかんやで13年。ようやく完成したのがこの「やあね、こけちゃっかー（屋根苔着車）」っちゅう、なんともアホみたいでアホちゃう乗りもんですわ。完成してからも、コツコツ改良して、メディアにもよう出さしてもろて、賞もいくつかいただきました

したんや。

一番ビックリしたんは、日本国の公式SNSにワシのことが取り上げられて、G7の国々にまで情報が行ったこと。ほんま夢みたいやつたわ。

最近「世界の苔おじちゃん」て名乗ってますねん（笑）。「やあね、こけちゃっかー？」の名前は商標登録も取つて、6月19日はその誕生日として記念日登録もしてもらたんですわ。

これからは、もつともつと世界中に苔の魅力を広げていけたら思います。引き続き、大阪南支部の活動、どうぞよろしゅうお願い申し上げます。



園芸高校生徒活動近況報告

フラワーファクトリ科

フラワーファクトリ科園芸デザイン専攻では、播種から花苗の管理、定植まで一貫して行っています。高校の敷地内だけでなく、地域の方々とも花壇作りや花苗作りをしています。また、育てた花苗を使ってガーデンショーにも出展しています。

地域の方と一緒に定植する時は、事前に生徒が花壇のデザインを考え、当日はデザイン案に沿って花苗を配置し、地域の方々とも



ガーデンショーに出展した作品

コミュニケーションを取りながら和気あいあいと定植しています。また、花苗作りは小・中学校に出向き、わかりやすく実践しながら一緒に作業を行っています。

園芸高校の花苗が地域に彩りと癒しを提供できるよう、日々頑張っています。

バイオサイエンス科

食品製造部では、池田市の地域住民と協力して地元の食材を用いた新商品の開発を行った。高校生と大人たちが何度もワークショップを重ねてアイデアを出し、商品の形を作っていた。

高校生たちは慣れない外部の大人たちを相手にするといつも通りの様子ではなく、借りてきた猫のように大人しかったが、顔を合わす回数を重ねていくと段々と自分を取り戻し、意見や考えを伝えられるようになっていくところに大きな成長を感じた。

最終的に出来上がったものは、池田市五月山産のはちみつを加えた自家製わらび餅をパンで包むユ

ニークなパンと、能勢産の鶏卵と園芸ソースを使用したカレーパンという王道なものができた。商品はどちらにも素晴らしく、商品コンセプトに沿った仕上がりとなった。様々なイベントで販売したが好評をいただいている。



環境緑化科

環境緑化科では、日頃より造園に関する知識や技術を学習し、習得した技術を生かして、様々なところで生徒たちが活躍できる場所を設けております。また、農業クラブにも力を入れており、平板測



砂紋引きの実習



FJF 全国大会 平板測量競技会

量競技会では岩手県で開催された全国大会に出場しました。校内にある枯山水式庭園の砂紋引きの実習、みのおキューズモールや池田城跡公園での門松制作など多くの人たちに成果や作品を見ていただき、生徒たちもやりがいを感じることができました。



みのおキューズモールと池田城跡公園にて門松の作製



平 2025年

環境緑化科卒

現在、愛媛大学農学部生物環境学科で基礎的な学問を幅広く学んでいます。将来的には農業土木分野の研究をしたいと考えています。

園芸高校で学んだことの第一は、農業に対しての向き合い方というのを学んだと思います。環境緑化科であったからこそ在学中に農業インターンシップを体験することや農業を好きになれたと思います。その結果、成長できたと思うのは、様々なことに対して興味を持つということです。

園芸高校は本当にアットホームな学校だと思います。1時間でも2時間でも環境緑化科の職員室で話して、自由に課題に挑戦することができ、何よりも先生方が本当に生徒のことを思っ

てくれています。アプローチひとつでいくらかでも成長すること

のできる学校だと思っています。

他校には無い実習庭園の池があり素晴らしいことですが、今や水が枯れつつあり濁っています。将来は自分の力で透明度を向上させようと土木技術を学んでいます。そして、池の生物多様性が在来種を頂点とするようなものになってくれること以上の喜びはありません。

これからも沢山の先輩が受験して欲しいと思っています。体験入学などを通して、園芸高校での高校生活を楽しめるとの感じ方であれば、大丈夫だと思います。

勉強も大事ですが、まずは楽しむということを大切に！学校生活を楽しく過ごせば成果や結果などが自然とついてくると 생각합니다。

長尾 瑠璃 2025年

フラワーアクトリ科卒

私は幼い頃から花が大好きで、もっと詳しく花や植物のことを知りたいと思い、園芸高校を選びました。園芸高校で頑張ったこととしては、意見発表を一番頑張ったなと自分では思います。

意見発表に取組んだことで、自分があまり自信がなかった分野に挑戦することができ、初めは本当に出来るのか不安でしたが、一度振り切ってしまうと自信がついて、自分の新たな才能に気づくことができました。先生の指導や応援のお陰で、意見発表大会では近畿大会最優秀賞に選ばれ、全国大会にまで行くことができました。

全国大会では残念ながら賞は取ることが出来ませんでした。全国大会では残念ながら賞は取ることが出来ませんでした。先生と来

れたことが、私にとつては一番の思い出です。

私の将来の夢は、母と園芸の知識と技術を活かした障害者施設を作ることです。私の弟が重度の知的障害があることもあり、畑や果物を一緒に育てられる様な施設を作りたいと思っています。看護学校に行き、病気や薬などについてしっかり学んで夢を叶えたいと思います。

これから園芸高校を目指す人に、「園芸高校はとても良いところですよ。緑豊かで校内がとても広く、自分の行きたいところに行けます。様々な環境を友として、又、先生方も生徒に寄り添ってください、他の学校では学べないようなことが学べます。勉強がダメだったとしても、ここで新しく自分の才能を見つけるのはどうでしょうか」

これから先、社会に出ても胸を張って自慢できるようなことを沢山教えてくれます。皆さん一度園芸高校に足を踏み入れてみてはいかがですか？きっと予想もできないような面白い高校生活が待っていると思いますよ。そして私が大切にしている言葉は「君には君にしかできない

い、この世の使命がある。あなたには、あなたでしか咲かせられない人生がある」です。いつかお会いしたい気持ちでいっぱいです。

引田 2024年

環境緑化科卒

造園施工管理の仕事に就いていますが、造園の施工管理の技術や知識は、殆どは園芸高校で学んだことで占めています。

園芸の良いところは、得意分野を持った先輩や同級生が一杯おり、その知識技能を共有できるところです。社会に出る前に基本を学べます。

現在「熊」の問題があります。園芸高校でその対処を学べたら面白いと思っています。

唐沢 夏騎 2025年

バイオサイエンス科卒



私は創価大学理工学部共生創造学科を志望し入学できました。

選んだ理由は、先進的な取り組みと充実した環境とその目標とするところに、園芸高校で学んだ微生物学の専門的知識を

活かすことができ、自分自身が成長できる大学だと感じたからです。

私が高校3年間で学んできたバイオサイエンス科は、バイオテクノロジーに関する知識と技術

を身につけ、人々の健康と持続可能な社会を創造することを目標としています。授業では、酵母や乳酸菌など肉眼では見られない微生物の観察や培養、キノコの人工栽培など様々な材料を対象に研究に取り組んできました。

また、私は微生物部に所属し「チーズ由来酵母の分離と性質について」の研究を完成させ、その成果として専門高等学校生徒研究文コンクールで優秀賞を取ることができました。

私が創価大学で学びたいことは、ホテイアオイの生態系を通して、環境問題や社会問題に対する解決策を見出し、創造的人間力を伸ばしたいことです。

今回の私の進学研究という挑戦が、後輩の新たな選択肢となるよう道を拓いていきたいです。



にはやネギ 2025年

バイオサイエンス科卒

大阪調理製菓専門学校製の製菓総合本科でお菓子とパンを作っています。

学校に入っていることは、学校の授業に困らないくらいの食品衛生に関する知識やパン生地や製菓器具の扱い方を学んできたことです。

園芸高校は、緑に溢れて気分もよく、バイオ研究や菓子などを製造する十分な設備が揃っています。高校時代から製菓やスイーツ作りの知識と技術を学んで下さい。

市 2024年

環境緑化科卒

公立高校でありながら、専門学校のような知識と技術を学べます。それを持つ会社でも大学でも専門領域に入っていけます。私の学科では、樹木の剪定方法など樹木に関する知識と技術、その上、庭の管理など知識と技術を学びます。フラワーファクトリ科もバイオサイエンス科でも幅広い基礎知識と専門技術を学べます。後輩の皆さんを待っています。

園芸高校創立110周年を記念して、学校関係者と同窓会役員による座談会が開かれ、歴史・現状・課題・今後の展望について語られました

詳細についてはホームページで公開予定

概要

学校の伝統と特色、最新の教育環境、進路状況、同窓会活動の報告、そして受験生確保や地域連携に向けたPR戦略が中心テーマです。

歴史と伝統

- ・1915年創立、移転を経て現在の八王寺へ
- ・「東の都立園芸、西の府立園芸」と並び称された伝統校
- ・校歌に校名がないことも伝統校の証

学校の現状

- ・広大な敷地と充実した施設（電子顕微鏡、ICT温室、茶室など）
- ・SSH指定校で研究環境が大学並み
- ・生徒が花を生け、農作物を販売するなど実践的な教育
- ・学校施設は老朽化しており、温室・実験室・プール等の改修が課題

教育・進路

- ・就職6割・進学4割（以前は就職9割）
- ・専門性を生かした就職に強く、企業から高評価
- ・一方で「高卒と大卒の待遇差」による離職が課題
- ・農業高校推薦で国公立進学者も毎年輩出

学生の活躍

- ・環境緑化科
- ・重機資格取得でテレビ取材
- ・バイオサイエンス科
- ・防災食レトルトを開発、ふるさと納税返礼品に採用
- ・フラワーファクトリ科
- ・花いけバトル全国大会の常連

同窓会活動

- ・約5,100名が会員、14支部を組織
- ・施設修繕支援やPR活動に協力
- ・卒業生LINEグループで若手世代とのつながり強化

今後の課題と展望

学校

施設整備、魅力発信（パンフ拡充、SNS・YouTube活用）、地域連携強化

同窓会

販売やPR活動支援、外部講師の活用、広報誌やSNSでの情報発信

共通目標

受験生確保、地域に開かれた学校づくり、伝統を守りつつ新しい農業・教育へ挑戦

全体として、「伝統を大切にしつつ、デジタル化・地域連携・PR強化を通じて魅力を発信し、受験生や社会から選ばれる学校を目指す」ことが強調されています。



地域のソース屋さん



バタフライガーデン



花いけバトル

YouTubeで紹介されてる動画

令和6年進路状況

令和6年度府立園芸高校卒業
生徒の進学先一覧

《大学・短大進学》

【関連学部】

(国公立) 愛媛大学農学部生物
環境学科地域環境工学コース、
鳥取大学農学部生命環境農学
科、徳島大学生物資源産業学部
生物資源産業学科、京都府立大
学農学食科学部農学生命科学
科、静岡県立農林環境専門職大
学生産環境経営学部生産環境経
営学科

《専門学校・各種学校等進学》

【農業大学校】

兵庫県立農業大学校(2)、福
岡県立農業大学校、和歌山県農
林大学校

【医療・衛生】

大阪医療看護専門学校(2)、
大阪医療秘書福祉&IT専門学
校、大阪ベルエール美容専門学
校、育成調理師専門学校、辻学
園栄養専門学校、高津理容美容
専門学校、大阪調理製菓専門学
校(2)、辻調理師専門学校

【商業実務】

大原医療福祉製菓専門学校

【工業・農業】

大阪情報コンピュータ専門学
校、ECCコンピュータ専門学
校、愛甲農業科学専門学校

(短大) 大阪国際大学短期大学
部栄養学科、東洋食品工業短期
科

大学包装食品工学科

【非関連学部】

(国公立) 兵庫県立大学国際商経
学部グローバルビジネスコース
(私立) 関西国際大学心理学部、
大阪人間科学大学保健医療学部
言語聴覚学科、大阪青山大学こ
ども教育学部こども教育学科
(短大) 大阪芸術大学短期大学
部

【文化・教養】

大阪動物専門学校、ESPエン
タテインメント大阪、岡山理科
大学専門学校

《その他》

KADOKAWAアニメ声優ア
カデミー専門部、マサモードア
カデミー、ヴィーナスアカデ
ミー

令和6年度府立園芸高校卒業
生徒の就職先一覧

《学校紹介就職》

【園芸装飾・農業・造園・コース管理】

株式会社乾造園、株式会社季節
の詩、株式会社蜂の郷にしおか、
阪神園芸株式会社、北ガーデン
プロデュース有限公司、株式会
社植伸建設、株式会社八景、株
式会社荒木造園設計、株式会社
植伸建設、株式会社大西東山造
園、大阪中央青果株式会社、株
式会社ビューティ花壇西日本、
クリエイティブ・フラワー・コー
ポレーション株式会社、株式会
社サトウ花店、日本ニューホラ
ンド株式会社、大阪北部農業共
同組合、株式会社大阪ビル管理、
一般社団法人宝塚ゴルフ倶楽
部、一般社団法人鳴尾ゴルフ倶
楽部、読売ゴルフ株式会社、株
式会社太平洋ゴルフサービス、
一般財団法人芦屋カンツリー倶
楽部(2)、株式会社朝日興産

【製薬・化学・バイオ関係】

神戸天然物化学株式会社、沢井
製薬株式会社三田工場(3)、
太陽ファルマテック株式会社
(2)、健栄製薬株式会社、住友
化学株式会社大阪工場、ハウス
ウエルネスフーズ株式会社、株
式会社コスモビューティー、王
子イメージングメディア株式会
社神崎工場

【食品製造・醸造・食品流通関係】

株式会社いいなダイニング、株
式会社明治屋食品工場、ママリ
ス株式会社、株式会社YKベ
キングカンパニー(2)、とよ
す株式会社、株式会社サンデリ
カ、マリンフーズ株式会社(4)、
株式会社グレイブストーン、大
関株式会社、株式会社阪急デリ
カ高槻工場、敷島製パン株式会
社、ベル食品工業株式会社、第
一屋製パン株式会社大阪空港工
場、株式会社鶴屋八幡、イズミ
ヤ・阪急オアシス株式会社、株
式会社丸北、株式会社蓬萊(2)、
株式会社ニシムラ

【運輸・通信】

阪急電鉄株式会社(2)、多摩流
通、日本郵便株式会社近畿支社

【工業系製造】

株式会社クボタ、金森合成樹脂
株式会社、佐々木工業株式会社、
富士シート株式会社

【サービス・販売・飲食】

TBKエアポートグランドサー
ビス、株式会社アヤハディオ、
株式会社オートバックス関西販
売北摂カンパニー(2)、株式
会社空港専門大店、株式会社阪
神髭定、ワタキューセイモア株
式会社近畿支店、株式会社EN
EOSスカイサービス、株式会
社ネスタリゾート神戸、株式会
社王将フーズサービス、一般社
団法人茨木カンツリー倶楽部、
ビューティリーオン、株式会
社クーパーウエルケア、TBCグ
ループ株式会社、株式会社ウィ
ルオブ・ワーク、北摂オート株
式会社、株式会社にしけい

《公務員》

陸上自衛隊(自衛官候補生)

《障害者・その他》

就労移行支援等施設(5)、敷
島製パン株式会社(障がい者雇
用)、フリーター



R 6 新幹事

フラワーファクトリ科

福留 優弥、大西 達也、山本 茉和、山本 海斗

環境緑化科

佐藤 大暉、国本 心愛

バイオサイエンス科

深瀬 哲徳、黒木 万緒、竹中紗也香、瀬藤 栞奈



異動職員

令和7年度当初教職員人事異動

(退職、離任のみ)

1. 退職または任期期間の終了

氏名

横瀬 好一

職名

農芸員

教科

技職

2. 離任

神 絵里香

荻野 歩

青木 健

河村 さゆり

校長

教諭

教諭

教諭

農業F

農業B

英語

英語

編集部からのお願い

お寄せください！投稿・ご意見・住所変更等のご連絡
〈下記QRコードから〉◀ 会報送付先
住所等の変更

◀ お問い合わせ



◀ 卒業生近況報告



◀ 記事掲載依頼

令和7年 創立記念祭のご案内

2025年11月9日(日) 10:00～15:00

同窓会員、元教職員、PTA等の方ふるってのご参加をお願いします。

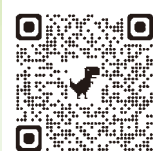
学習研究成果の発表、各種展示、野菜・生製品の販売、
バザー・屋台等々、総力を挙げて準備します。

◎同窓会館を休憩所にあて簡単な飲物を用意しております。

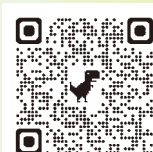
懇談等にもご利用下さい。住所変更等の受付も行います。

〈幹事の方の立ち寄りをお願いします〉

詳細は右記ホームページでご確認下さい。



園芸高等学校



大園同窓会

編集後記

55年ぶりに関西・大阪で万国博覧会が開催されている。猛暑！熱中症！年々世界的な気候変動に翻弄されるばかりです。

今年も園芸高校の精鋭200人は学び舎を元気に育ち、輝ける未来へのスタートを切りました。本会報にも昨年から「Z世代が語る！」に記事を投稿してくれています。どの投稿にも、「園芸で学んで良かった！学んだ知識や技術は、大学進学先や企業でも直ぐに役立っている！急激に変化する社会で、緑と自然の中で伸び伸びと学んだことで心落ち着いて毎日過ごすことができている！」等々、高等教育本来の学習と人間教育を習得できたことを最大の成果

と述べてくれています。

同窓会としても、そのような母校を“あるべき教育を習得する稀な学校”として誇りを感じます。高校無償化の流れの中で、公立高校よりも、私立高校や綺麗な校舎や設備のある学校が注目を浴びる時代に入りました。同窓会も学校と協力して、「学校の紹介・周知を！」「わが子・孫に推奨！」「知り合いに啓蒙を！」と広く世に広げたいものです。

終戦及び被爆80年、更には地球沸騰化の時代に心身ともに伸び伸びと平和の大切さと自然との共生を学んだ若き人材を、社会に世界に送り出していきたいと願う110周年記念号です。

(編集責任者 山本正)